

山ノ内町学校給食センター運営審議会 議事要旨

○開催日時・場所・出席者

開催日時 令和7年12月2日(火)午後6時05分～午後7時28分まで

場 所 山ノ内町文化センター 郷土資料室

出席者 下記のとおり

○協議事項(議事要旨)

1 開 会 (兼進行:望月教育次長)

2 あいさつ
竹内教育長

3 会長選出

会長選出について諮ったところ、事務局案との意見があり、町校長会の竹内会長にお願いしたいと提案し、異議なく決定。

4 会議事項 (議長:審議会条例第6条により竹内会長)

(1) 職務代理の指名について

会長:PTA会長4校を代表し、中学校PTA会長の小湊さんを指名(条例第5条第3項)

(2) 学校給食費の改定について

議長:諮問並びに説明願います。

事務局:資料により教育委員会からの諮問であることを説明。

事務局:会議資料に基づき、学校給食費に係る経過から1食あたりの額について説明。

上半期の支出を令和6年度と比較したところ約50万円の支出増。1月需要分の精米価格についても上昇するため、今年度については12月補正で学校給食協議会への補助金を200万円増額計上して対応するが、先行きの見えない物価高騰であり、給食の質を落とさずに維持していくためには、1食あたりの給食費の額を値上げせざるを得ない。近隣市町村に聞き取りを行ったが、いずれも厳しい状況である。

よって、1食あたりの小学校給食費310円を360円、中学校366円を420円としたい。

【質疑・意見等】

委員:特に保護者の皆さんに知っておいていただきたいのは、なぜ保護者が給食費を払うのかということ。学校給食法第11条には、給食にかかる費用について、設備や人件費は給食センターの設置者が負担し、食材費は保護者が負担すると定めている。

いずれは国による無償化が進められると思うが、町の無償化については首長の政策的な考え方もある。

今年度の補正予算についても了承する方向であり、議会としても令和3年から給食費の無償化と言ってきた立場であり、給食費を適正な価格にしていくことは必要と考える。

委員:1月需要分からの精米の上昇分1,790円は入っているのか。大丈夫だろうか。

もう少し上げないと厳しいのでは。

事務局：このまま精米の価格が右肩上がりに増え続けるとは考えにくい。この額で大丈夫とは言い切れないが、近隣の状況を見てもこのぐらいの単価でと考える。近隣より高い訳にはいかないと思うが担保するものはない。逆に事務局では、こんなに上げて大丈夫かと話をしていたところ。

委員：足りない分は町が補正していただけるならと思うが、近隣を見ても無償化になっていないのは、山ノ内と野沢だけである。

会長：本当に給食は子どもたちを支えていただいている。単価や味など、校長先生方は県内中を異動されてご存じかと思うが山ノ内の給食はいかがか。

委員：中野市と比較すれば距離が近い分、温かくておいしい。中野市は搬送の経路もあるので若干冷めてしまう。

委員：現在の学校が9地区目だが、パンに違いがあると思っている。大きさや味、種類は様々。経験してきた中では単価は安いほうだと思う。給食費が高く、補助がないところもあるが、無償化というのは保護者にとって重要なキーワードだと思う。なぜ、山ノ内は無償化できないのか。

事務局：国による無償化の制度設計がまだであり、年明けに方向性が固まってくれば予算を組み替えて無償化にしていきたいと考えている。

会長：給食費の1食あたりの単価について、事務局案の小学校360円、中学校420円で答申したいがいかがでしょうか。

⇒異議なし

：それでは答申の原案を検討したいと思います。

（答申案を委員に配布）

：文案についていかがでしょうか。

⇒異議なし

：それでは進行を事務局にお返しします。

5 その他

次長：委員、事務局から何かあるか確認。

委員：この中に、たばこなりお酒を飲む方はいるか。50円の工面の仕方として、簡単な話、たばこ酒をやめれば工面することができると意見しておきたい。

委員：猟友会に所属しており、クマ・シカ・イノシシを駆除している。なぜ人里に出ているかも含めて、命をいただくという食育として、駆除された動物をジビエとして給食で出せないか。全町エリアがユネスコエコパークということもあり、年に一回でいいので提供していただきたい。

事務局：血抜き処理の問題等もあるが、県内でいくつか出している給食センターもあると聞いているので、栄養教諭の集まり等で情報収集していただき検討したい。

委員：給食費の値上げを周知していくスケジュールは。小学校から中学校に上がるタイミングもあるし。1月中旬に保護者説明会を予定しているので、それまでに紙を渡すなり、年度内にこうなるという文書をいただきたい。令和8年度、5割補助はあるのかなど。

委員：前の赴任地区でも周知がギリギリで揉めたケースもある。

事務局：今年度の物価高騰臨時交付金による一人15,000円の補助も含めて説明できるよう

にしたい。

事務局：インフルエンザの流行により、学級閉鎖が相次いでいる。今日までで、13クラス1,178食が欠食となっている。主食や牛乳など止められるものは対応するが、食材などは止められないものがあり、給食費は発生してしまう。数物のおかずについては、無理のない範囲で食べていただき、残食は致し方ないが、できるだけフードロスに努めたいのでご理解をお願いしたい。

6 閉 会

※会議終了後、会長同席のもと委員から付帯意見について話があり、答申書に盛り込むこととした。

○出席者名簿（敬称略・順不同）

（委員）

山ノ内東小学校PTA 会長 南條 伸太郎

山ノ内南小学校PTA 会長 平原 剛

山ノ内中学校PTA 会長 小湊 崇法

学校医 城下 裕

学校薬剤師 関 正雄

学識経験者 成澤 けい子

山ノ内町議会社会文教常任委員会 委員長 高田 佳久

山ノ内東小学校 校長 北垣内 博

山ノ内西小学校 校長 竹内 由紀

山ノ内中学校 校長 山口 近

（事務局）

山ノ内町教育長 竹内 延彦

山ノ内町教育次長兼こども未来課長 望月 弘樹

山ノ内町学校給食センター 所長 下田 裕一

栄養教諭 降旗 優希